

PRINCETON

液晶ディスプレイ

PTFGHB-32C

OSD 操作マニュアル

本書をお読みいただく前に

本書には液晶ディスプレイの設定に必要な操作方法が記載されています。
本書をお読みいただく前に、製品に同梱されているユーザズガイドに従って、液晶ディスプレイを設置してください。

目次

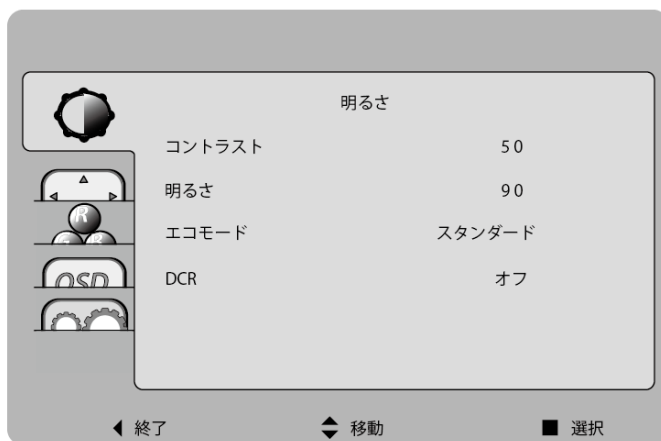
目次.....	2
1. OSDの概要と基本操作	3
OSD メニューの概要.....	3
各ボタンの機能.....	4
基本的な操作方法.....	6
2. 設定項目.....	8
明るさ	8
画像調節.....	10
色温度	12
OSD 設定	13
その他.....	14
3. 便利なダイレクトキー機能.....	15
4. 用語集.....	16

1. OSDの概要と基本操作

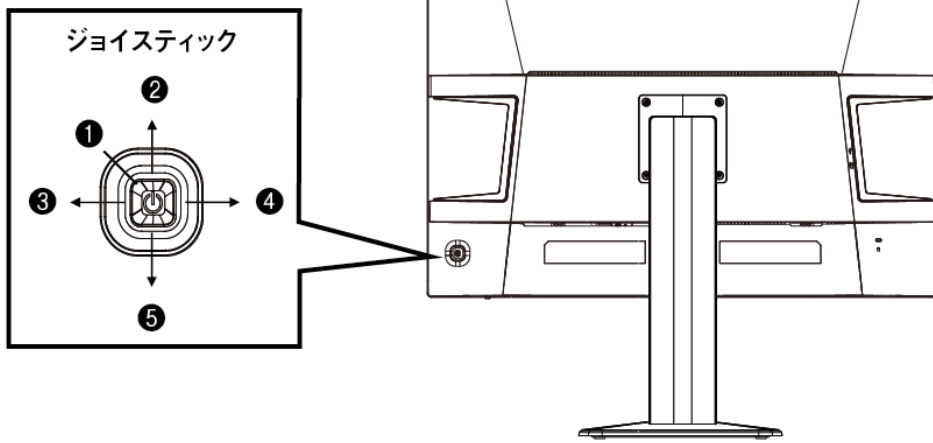
OSDメニューの概要

OSDメニューでは液晶ディスプレイの画面表示を細かく調整することができます。
OSDメニューを起動すると、設定可能な項目が一覧で表示されます。

※ 選択中の項目はアイコンがカラー表示になります。



各ボタンの機能



ジョイスティック ダイレクトキー操作

ジョイスティックは OSD メニュー操作の他、利用頻度の高い機能のショートカット（ダイレクトキー）として機能します。

※以下表のジョイスティックの矢印は液晶ディスプレイ正面から見た際の操作方向を示しています。

①	 中央ボタン	<ul style="list-style-type: none">・電源の入切（ボタン長押し）・決定（設定値の変更を確認）／実行
②	↑ 上	<ul style="list-style-type: none">・機能なし
③	→ 右	<ul style="list-style-type: none">・音量・音声ソース設定
④	← 左	<ul style="list-style-type: none">・入力選択・自動調整（D-SUB 時に長押し）
⑤	↓ 下	<ul style="list-style-type: none">・エコモード設定・OSD ロック / ロック解除（長押し）

基本的な操作方法

- ① 中央ボタンを押すと、画面に OSD メニューが表示されます。



- ② ジョイスティック ↑ ↓ を操作し調整したい項目まで移動します。



- ③ 中央ボタンを押して右メニューへ移動します。



- ※ 選択中の項目はオレンジで表示されます。
- ※ 選択できない項目はグレーで表示されます。

- ④ ジョイスティック ↑ または ↓ を操作して、変更したい項目へ移動し、中央ボタンを押します。
- ⑤ ジョイスティック ← または → を操作して任意の値へ変更し、中央ボタンを押して確定します。



- ⑦ ジョイスティック ← を 2 回押して、OSD メニューを終了します。

2. 設定項目

明るさ

画面の明るさやコントラストなどを調整できるメニューです。

※ HDR 映像入力時は自動で最適化されるため任意の設定はできません。

項目名	説明	設定値
コントラスト	画面のコントラストを調整します。 ※ [DCR]がオンの場合、[コントラスト]は設定できません。	0 ~ 100
明るさ	画面の明るさを調整します。 ※ [DCR]がオンの場合、[明るさ]は設定できません。	0 ~ 100
エコモード	ご使用の用途に適した画面設定へ切り替えできます。 ※ [エコモード]をスタンダード以外に設定すると、[明るさ]、[コントラスト]は設定できません。	スタンダード テキスト インターネット FPS RTS ムービー スポーツ

明るさ 続き

項目名	説明	設定値
DCR	<p>画面の明暗に合わせて明るさが自動的に調整されます。</p> <p>※ [DCR]をオンに設定すると、[明るさ]、[コントラスト]、[エコモード]は変更できません。</p>	オン オフ

画像調節

HDR などの拡張機能設定や、アナログ入力信号の画像調節設定ができるメニューです。

項目名	説明	設定値
クロック	画面に縦縞やちらつき、にじみが表示される場合に画面の位相を調整します。 ※ D-Sub 入力時のみ項目が表示されます。	0 ~ 100
フェーズ	[クロック]と同様に、画面にちらつき、にじみが表示される場合に調整します。[クロック]を正しく調整した後で[フェーズ]調整を行います。 ※ D-Sub 入力時のみ項目が表示されます。	0 ~ 100
水平位置	画面表示位置の水平位置を調整します。 ※ D-Sub 入力時のみ項目が表示されます。	0 ~ 100
垂直位置	画面表示位置の垂直位置を調整します。 ※ D-Sub 入力時のみ項目が表示されます。	0 ~ 100
画像比	画面の解像度に関わらず、アスペクト比(縦横比)を固定したまま拡大表示できます。 ※ 800 × 600 などの 4 : 3 解像度が入力された時に設定できます。	ワイド 4:3

画像調節 続き

項目名	説明	設定値
オーバードライブ	オーバードライブ機能を無効、または 3 段階で調整できます。	オフ レベル 1 レベル 2 レベル 3
FreeSync	FreeSync を有効または無効にします。 ※ Radeon FreeSync™に対応するグラフィックボード・機器でご利用になれます。	オン オフ
HDR	自動に設定すると、HDR コンテンツ表示時に自動で画面を最適化します。 オフに設定すると、接続先の機器からは HDR 非対応ディスプレイとして認識されます。 ※ D-Sub 入力時は設定できません。	自動 オフ
USB 給電	オンに設定すると、液晶ディスプレイの電源がオフの状態でも USB ハブ/充電機能を有効にできます。	オン オフ

色温度

色温度とブルーライトの調整ができるメニューです。

項目名	説明	設定値
色温度	表示画面の色味を調整できます。 ※ sRGB にした場合、[コントラスト]、[明るさ]、[エコモード]は設定できません。 ※ [ブルーライトリデューサー]がオンの場合は設定できません。	暖色 通常 冷色 ユーザー設定 sRGB
赤	[色温度]をユーザー設定にしている場合、赤単色を調整できます。	0 ~ 100
緑	[色温度]をユーザー設定にしている場合、緑単色を調整できます。	0 ~ 100
青	[色温度]をユーザー設定にしている場合、青単色を調整できます。	0 ~ 100
ブルーライトリデューサー	オンに設定すると、青色の発色をカットしブルーライトが軽減します。 ※ [ブルーライトリデューサー]をオンに設定すると、[色温度]は変更できません。	オン オフ

OSD 設定

OSD の表示設定ができるメニューです。

項目名	説明	設定値
水平位置	OSD メニューを表示する水平位置を調整します。	0 ~ 100
垂直位置	OSD メニューを表示する垂直位置を調整します。	0 ~ 100
タイムアウト	OSD 操作終了後に、OSD メニューが消えるまでの時間を調整します。	5 ~ 100
言語	OSD メニューの表示言語を設定します。	日本語 英語 スペイン語 フランス語 ポルトガル語 ロシア語 中国語（簡体中文） 中国語（繁体中文） 韓国語

その他

入力選択やリセットができるメニューです。

項目名	説明	設定値
入力選択	画面に表示する入力端子を選択できます。 Autoにした場合、入力された映像信号を検出し自動的に映像を表示します。 ※「信号無し」のメッセージが表示される場合、ジョイスティック←を操作して、機器と接続している入力端子を選択してください。	Auto D-Sub HDMI 1 HDMI 2 DisplayPort 1 DisplayPort 2
DDC / CI	オンに設定すると、パソコンから液晶ディスプレイを設定できるソフトウェアを使用できます。	オン オフ
リセット	OSD メニューの設定値を工場出荷時の状態に戻します。	いいえ はい

3. 便利なダイレクトキー機能

いくつかの設定は、OSDメニューを表示していない状態でも変更することが可能です。

ダイレクトキーは、ジョイスティック←、→、↓で実行できます。

■ ダイレクトキー操作の一覧

※ジョイスティックの矢印は液晶ディスプレイ正面から見た際の操作方向を示しています。

ボタン	ダイレクトキー	設定値
ジョイスティック →	音量・音声ソース設定	音量：0 ～ 100 音声ソース：デジタル/ Line-In
ジョイスティック ←	入力選択 自動調整 (D-Sub 入力時 に長押し)	入力選択： Auto/D-Sub/HDMI 1/ HDMI 2/DisplayPort 1/ DisplayPort 2
ジョイスティック ↓	エコモード設定 OSD ロック / ロック解除 (長押し)	エコモード： スタンダード/テキスト/ インターネット/FPS/RTS /ムービー/スポーツ

4. 用語集

用語	説明
OSD	オンスクリーンディスプレイの略で、画面上に液晶ディスプレイの設定画面を表示する機能です。
コントラスト	画面の白：黒の輝度比率のことです。
DCR	Dynamic Contrast Ratio の略称です。 映像の色合いに応じて、画面の輝度およびコントラスト値が自動調整されます。 暗いシーンでは画面が暗く、明るいシーンでは画面が明るくなります。
オーバードライブ	中間色の応答速度を引き上げ、動画の残像を軽減する機能です。
ブルーライト	人間が見ることのできる可視光のうち、約 380nm～500nm の範囲がブルーライトと呼ばれる波長領域です。
FreeSyncs	ゲームプレイ時の同期ズレによる画像の乱れ（ティアリング）やカクツキ（スタッタリング）の発生を低減できる機能です。
HDR	High Dynamic Range の略称です。 HDR 対応コンテンツと HDR 対応ディスプレイの組み合わせで、従来よりも広い明暗差での表現が可能になりました。夜景などのシーンでより肉眼に近い状態の映像を楽しむことができます。

PRINCETON 株式会社プリンストン

本社〒 101-0032 東京都千代田区岩本町 3-9-5 K.A.I. ビル3F

URL : <https://www.princeton.co.jp>

本機器の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

本書の著作権は株式会社プリンストンにあります。

本書の一部または全部を無断で使用、複製、転載することをお断りします。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標、および登録商標です。

本書では®™は明記しておりません。

本機器の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。

あらかじめご了承ください。

2019年9月 初版

Copyright © 2019 Princeton Ltd.